

東郷町都市計画マスタープラン部分改定（案）に係る意見募集結果

案件名 東郷町都市計画マスタープラン部分改定（案）

募集期間 令和5年11月27日（月曜日）から令和5年12月17日（日曜日）まで

意見 2名 2件

番号	意見	町の考え方
1	<p>米野木駅や黒笹駅といった鉄道駅が近く交通の便の良い地域に工場、研究開発施設その他の施設を誘致すること、および愛知池周辺の緑との調和を図り、自然環境に配慮した土地利用を図ることについては良いことと考えます。</p> <p>一方で、開発の仕方によっては次のような悪影響も懸念されるため、十分な配慮が必要であると考えます。</p> <p>1 工場建設・稼働による土壌汚染、大気汚染、騒音。工場敷地や跡地において、有機溶剤、鉛その他の有害物質による土壌汚染が発生することや、硫黄酸化物、煤塵等による大気汚染が発生することが多々あります。工場はその立地する自治体にとって多くの税収をもたらしますが、場合によってはその自然、町民の健康や町の農業に悪影響を与えるおそれがあり、闇雲に誘致することは望ましくありません。工業地域や工業専用地域とする場合であっても、地区計画を定めること等により、有害な工場建設を防ぐべきであると考えます。</p> <p>2 交通量増加の懸念。工場への通勤者及び取引先等により交通量が増加し、排気ガスによる大気汚染・渋滞・交通事故を引き起こす可能性が高まります。せつかく鉄道駅に近い地域ですので、マイカーではなく公共交通機関・徒歩・自転車による通勤がしやすくなるよう、自転車道等の整備も併せて行う必要があると考えます。</p> <p>3 緑の減少に対する懸念。東郷町には森林、水田、畑、溜池が多くあり、それにより緑豊かで生物多様性に富み、過ごしやすい町となっています。この地域にも多くの緑が残されています。</p>	<p>ご意見を踏まえ、関係部局と情報共有をしながら、今後の具体的な町政運営の参考とさせていただきます。</p>

	<p>森林（特に在来種・広葉樹を主体とする里山）や溜池などは開発から守り、緑地として保全することも重要であると考えます。案にあるように、自然環境や周囲の農地等との調和が十分取れた開発が行われることを望みます（例えば環境影響評価を行う、緑地を多く残す等）。</p>	
2	<p>駅（米野木、日進、黒笹）やインターに近い諸輪地区を開発して、住宅地、商業施設及び工場の誘致を促進することは、東郷町の税収増加に寄与することと思えます。立地の良さをアピールして多くの事業者が来てくれることを期待します。</p> <p>また、隣の名古屋市の都市計画を見ると、低層住居専用地域において、建蔽率40%、容積率80%、隣地境界線からの距離1mと規制をしている地域が多くあります。一方で、東郷町の低層住居専用地域では、建蔽率50%、容積率100%と緩い規制になっています。部田山・白土の低層住居専用地域において、ここ最近多くの家がひしめき合うように建ち並んでおり、日当たりが悪くなったり風通しが悪くなったりするなど、住環境が悪化しています。魅力ある街づくりのためには、「ゆとりある」住環境が肝腎であり、そうすることによって町の価値が高まると思えます。つきましては、低層住居専用地域に建蔽率・容積率・隣地境界線からの後退距離に関する規制を強化していただければと思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、関係部局と情報共有をしながら、今後の具体的な町政運営の参考とさせていただきます。</p>